

スポーツ用品メーカー

【スポーツシューズブランド人気上位10位】

- ① ナイキ
- ② アディダス
- ③ LINING
- ④ コンバース
- ⑤ リーボク
- ⑥ 匹克
- ⑦ 361度
- ⑧ ANTA
- ⑨ ジョーダン
- ⑩ XTEP



スポーツ用品業界売上高ランキング

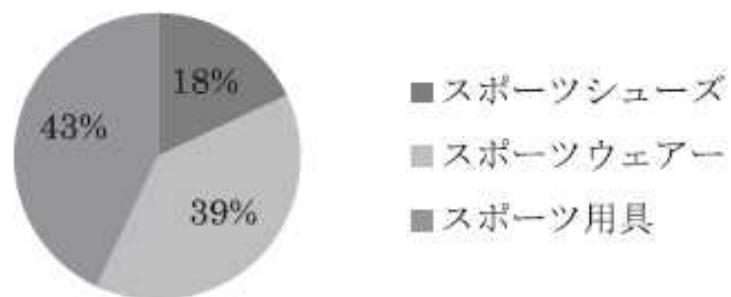
各種スポーツウェア、スポーツ用品を製造する企業群

- 01位 アシックス【2601.98億円（2013/03/31）】
- 02位 シマノ【2458.43億円（2012/12/31）】
- 03位 美津濃【1636.50億円（2013/03/31）】
- 04位 デサント【919.32億円（2013/03/31）】
- 05位 ダンロップスポーツ【617.02億円（2012/12/31）】
- 06位 グローブライド【594.60億円（2013/03/31）】
- 07位 ゴールドウイン【525.10億円（2013/03/31）】
- 08位 ヨネックス【386.00億円（2013/03/31）】
- 09位 ゼット【382.18億円（2013/03/31）】
- 10位 マミヤ・オーピー【217.21億円（2013/03/31）】
- 11位 遠藤製作所【174.86億円（2013/03/31）】
- 12位 SHOEI【86.07億円（2012/09/30）】
- 13位 マルマン【65.33億円（2012/09/30）】
- 14位 グラファイトデザイン【34.62億円（2013/02/28）】
- 15位 ティムコ【28.04億円（2012/11/30）】

©ATSUTO NISHIO

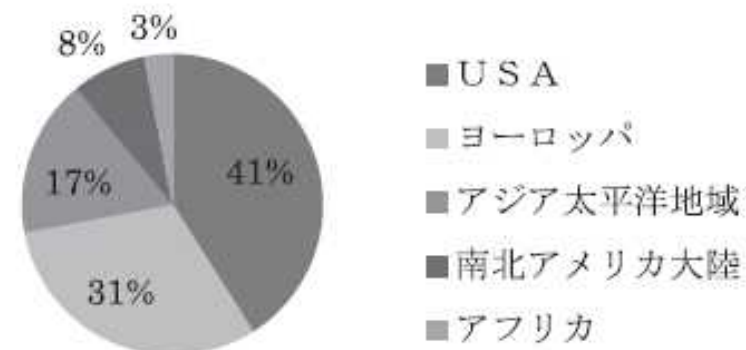


スポーツ用品世界市場



スポーツ用品の世界市場（2005年 製品について）

出典：Sporting Goods Intelligence Factbook, quoted in Schmid / Kotulla 2007: 2



スポーツ用品の世界市場（2005年 地域について）

出典：Sporting Goods Intelligence Factbook, quoted in Schmid / Kotulla 2007: 2



アシックス

東証1部 その他製品

スポーツシューズ強い。ウェアを強化中。「アシックス」「オニツカタイガー」ブランドが柱



ヨネックス

東証2部 その他製品

圧倒的シェアのバドミントンとテニス、ゴルフが3本柱の用品メーカー。新潟でゴルフ場も運営



デサント

東証1部 繊維製品

スポーツウェア国内大手。「ルロック」「マンシング」等ブランド展開、韓・中国軸に海外拡大



ミズノ

東証1部 その他製品

スポーツ用品専門大手。オーナー系。シューズ成長。競泳、ゴルフ、野球も強い。海外事業拡大中



Burton - スノーボード
Dynastar
GT - スポーツサイクルブランド
FILA
FLAUNT/GUSH - スノーボードウェアブランド
TYR - スイム・フィットネス・トライアスロンウェア
VARSITY
アシックス (Asics)
アディダスジャパン (adidas)
アリーナ (arena) - スイムウェア
アンブロ (UMBRO) - サッカーブランド
イオン (EON) - ゴルフクラブメーカー
ウィルソン (Wilson) - スポーツ用品全般
エラン (ELAN) - スキー・スノーボード
オガサカ (OGASAKA) - スキー
小川キャンパル - テントメーカー
オークリー (OAKLEY) - スポーツサングラス
オニール (O'NEILL) - サーフィン・スノーボード
カッパ (KAPPA)
キスマーク (kissmark) - スノーボードブランド
キャノンデイル (Cannondale) - スポーツ自転車・モトクロスバイク
ゲーリー・フィッシャー (Gary Fisher) - 自転車
ゴールドウイン (GOLDWIN) - スキー・スノーボード
コールマン (Coleman) - アウトドアブランド
コンバース (Converse) - シューズ
サロモン (SALOMON) - スキー用品
シナノ (sinano) - スキーポール・トレッキングステッキ
シマノ (SHIMANO) - 自転車・フィッシング・ゴルフ用品
ジャイアント (GIANT) - スポーツサイクル専門メーカー
ジャパーナ (Japana) - テニス・スキー用品
スピード (Speedo) - 競泳用品
スノーピーク (snow peak) - アウトドア、フィッシング用品
世界長 (Secaicho) - シューズ

ダイワ精工 (DAIWA) - フィッシング・テニス・バドミントン・スカッシュ用品
ダンロップ (DUNLOP) - ゴルフ・テニス・アウトドア
ティムコ (TIEMCO) - 釣り用品
デサント (DESCENTE)
東レ (TORAY) - フィッシング商品
ナイキ (NIKE) - ナイキが作る、自分デザインオリジナルシューズ。NIKEiD
奈良スポーツ (GEN) - スキーブーツメーカー
ノースセール (North Sails) - ヨットのセールメーカー
ノルディカ (Nordica) - スキー用品(英語)
プーマ (PUMA) - シューズ
フィッシャー (Fischer) - スキー
フェニックス (PHENIX)
富士工業 (FUJI) - 釣り用品
ブリヂストンサイクル (BRIDGESTONE CYCLE) - 自転車メーカー
ブリヂストンスポーツ (BRIDGESTONE) - ゴルフ・テニス・バドミントン用品
ヘリーハンセン (Helly Hansen) - ヨット製品・マウンテンバイク・スキー
本間ゴルフ (HONMA)
マルキュー (marukyu) - 釣りエサ。名人の釣り場速報
マーカー (MARKER) - ビンディングメーカー
マミヤ・オーピー (Mamiya-OP) - フィッシング・ゴルフ用品
ミズタニ自転車 (Mizutani) - 折り畳み自転車
ミストラル (Mistral) - ウィンドサーフィン用品
宮田工業 (MIYATA) - 自転車
ユーエスピー (Generics & BLAX USP) - スノーボード・ビンディング・ブーツ等
ヨネックス (YONEX)
ライケル (RAICHLE・KNEISSL) - スキー・スノーボード用品
リーボック (Reebok) - シューズ
リョービ (RYOBI) - 釣具用品
ロックポート (Rockport) - アウトドアシューズ
ロゴス (LOGOS) - アウトドア用品。
ロシニョール (Rossignol) - スキー・スノーボード用品
ローバー (ROVER) - フットボールプロショップ





A&F / エイアンドエフ

グレゴリー、イーグルクレ
品を扱う者

スポーツシューズに強みを持ち、とりわけマラソン競技、バレーボールなどでは高いブランド力を持つ。

アシックスに社名・商標を変更する以前のブランドであるオニツカタイガーは、レトロな雰囲気からファッションアイテムとしての人気を呼び、現在では再び一般向けシューズのブランドとして製造販売されている。

2006年(平成18年)3月期の連結売上高は前年比66%増、スポーツウエア24%、スポーツ用品10%と



1920年 - ドイツ・ニュルンベルク近郊のヘルツォーゲンアウラッハで、兄ルドルフ・弟アドルフのダスラー兄弟が、靴製造の会社「ダスラー兄弟商会」を設立。

1948年 - 兄弟との意見対立により「ダスラー兄弟商会」を解消。アドルフはアディダス社を設立。「アディダス」とはアドルフの愛称「アディ」と「ダスラー」をつなげたもの。なお兄ルドルフはRUDA社を設立。これが翌年、プーマ社となる。

【トレfoilロゴ】1972年に初登場。月桂樹の冠をモチーフにした三つ葉マーク。現在は復刻シリーズに対して使われている。

【パフォーマンスロゴ】1991年に初登場。別名: エキップメント、スリーバー。三本線で三角形をかたどったマーク。当初は高機能素材の商品のみに使用され、各カテゴリの最高機種「ベスト・オブ・アディダス」を意味していた。その後、一般ユーザーからの人気が高まり、1997年より通常アイテムにも採用されるようになった。

【グローブロゴ】2002年に初登場。円に斜めの3本線が入ったマーク。スポーツウエアを専門に採用。

【リニアロゴ】(「adidas」の文字のみのロゴ)

【アディダス・アドベンチャー】(adidas ADVENTURE) 1990年代初頭にアディダスのアウトドアラインとして日本から登場したブランド。後にドイツのアディダスでも製造されるようになった。ロゴは「adidas ADVENTURE」の文字のみ。



ASICS / アシックス

1949年

ほかスポーツシューズの開発・生産・販売を通じて青少年を健全に育成することを願い、スポーツシューズの企業として神戸に創業したことに始まる。

BREATHWEAVE素材が特徴。





BE WET / ビーウェット

1968年に職業潜水夫用のウェットスーツ製造を目的に発足。その開発過程を経て、1983年に溝を持ってリリースされたサーフィン&ボディボード用のウェットスーツブランド。



BURTON / バートン

史上最強のスノーボードギアを仕上げることに全力を尽くすスノーボーダーの組織、バートンスノーボードのサイト。



BILLABONG / ビラボン

3年連続世界チャンピオン、アンディアアイアンズをサポートする。

NO IMAGE

CALIFORNIA-T / カリフォルニアア-T

70年代に大流行したカリフォルニアア-T。



BIRDWELL / バードウェル

カリフォルニアの老舗ボードショップ屋。MADE IN USA。



CANADA GOOSE / カナダグース

1957年、カナダのトロントで誕生。「メイドインカナダ」にこだわり生産。南極探検隊、エヴェレスト登山隊などのプロフェッショナル達にもその製品を提供し続け、そして、彼らのフィールドでの実体験から基づくデータが製品にフィードバックされている。



BLACK FLYS / ブラックフライ

ハードなイメージが人気のカリフォルニアのサングラス。



Cannondale / キャンンデール

設立は1971年。自転車とオフロード・モータースポーツを扱うメーカー。世界初のバイクトレイラー"Bugger"、世界初の大径アルミフレームバイク"ST500"、世界初のリアサスペンション付きフレーム"E.S.T"等、数々の「世界初」を生み出している。



BRASIS / ブラシス

ブラジル生まれの注目の水着。



CASH / キャッシュ

スティーブ・ボイセンがシェイプするカリフォルニアで最も注目されているネオクラシックロングボードのブランド。



BROOKS / ブロックス

アメリカアトル発のランニングウェア&シューズブランド。ナイトライフレクションはアメリカでも特に人気が高い。



CHAMPION / チャンピオン

1919年、ニューヨークで誕生。その歴史がそのままスウェットシャツの歴史ともいえる。キング・オブ・スウェット。





CHANNEL ISLANDS SURFBOARDS / チャンネルアイランドサーフボード
世界NO.1サーフボードブランド。



CROCS / クロックス

クロックスの誕生は、2002年7月。アメリカコロラド州ボルダーに住む3人の創業者が、フォーム・クリエーション社の開発した一風変わったシューズを決めたことからはじまりました。独自開発した「クロス」の厚さや前後に可動するストラップ等に

1908年 - アメリカマサチューセッツ州モールドンのデパート経営者のマーキス・M・コンバースが創業。翌年、降雪量の多い湿地帯でも使用できるラバーシューズを製造開始。
1917年 - バasketボールシューズのキャンパスオールスターを開発。
1935年 - バドミントンプレイヤーのジャック・パーセルが開発に参加し、ジャックパーセルを発売。
1945年頃 - キャンパスオールスターにアンクルパッチが付き始める。
2001年1月 - 米連邦倒産法第11章の適用を申請し倒産。その後企業再建に伊藤忠商事が資本参加。
2002年4月 - 伊藤忠商事により、コンバースジャパンが設立。
2003年7月 - ナイキに360億円で買収される。



CHUMS / チャムス

ロッキー山脈の心も
る。「楽しさ」と「ク
される物作りを



Columbia

アメリカのアウトドアメーカー。1938年創業。もとは帽子問屋が始まり



CONVERSE / コンバース

1908年設立。もともと雨や雪の中でも作業が出来るラバーシューズの製造をしたことからはじまったブランド。その後通年で販売できる商品をということで当時まだ無名に近いバスケットボールに目をつけ開発したのが、キャンパスオールスターである。

EVERNEW

EVER NEW / エバニュー

アウトドアやスポーツに関する用具・器具・ウェア等を扱うアウトドアメーカー。

FCS

FCS / エフシーエス

取り出し可能なFINの代名詞FCS。ケース等も充実。



FUEL BELT / フューエルベルト

アメリカ発世界のトライアスリートから支持をされているハイドレーションブランド。





GOLD'S GYM / ゴールドジム

世界のトレーニング界をリードするトレーニングジム。



GOOD ON / グッドオン

MISSOURIの信号機もない片田舎に1985年に誕生し昔ながらの縫製を続ける工場で生産。忘れかけていた本物。こだわりのMADE IN U.S.A , CUT & SAW (T-SHIRTS SWEAT SHIRTS)



Gramicci / グラミチ

クライミングベースのアウトドアカジュアルウェアブランド。オッシュマンズでいち早く紹介した。



GRANITE GEAR / グラナイトギア

1986年、アメリカミネソタ州で誕生。革新的で機能的なデザイン哲学でウルトラライト&タフなBAGを作り続ける。



GRAVIS / グラビス

サーフィン、スケートボード、スノーボード、アートを軸に、シューズ、バッグ、アパレル製品を展開するライフスタイルブランド。
世界一流のサーファー、スノーボーダー、ミュージシャンに加え、アーティストで構成される「Development Team」によって生み出される。



HAGLOFS / ホグロフス

1914年、スウェーデンで生まれたブランド。創業者のヴィクトル・ホグロフが森で働く人々のためにバッグを作ったのが始まり。現在はトータルブランドとして、北欧では75%以上のシェアを誇る。



HALEO / ハレオ

全く独自の理論に基づきフォーミュラされたサプリメントブランド。「地球上で一番優れたスポーツサプリメントを開発したい」という共通のビジョンを持ったアスリートと研究者によって構成されたメンバーで商品を開発。アスリートのためだけのスポーツサプリメントを製造している。



HANG TEN VINTAGE / ハンテンビンテージ

「hang ten(ハンテン)」はDuke Boydが1960年にスタートさせたカリフォルニアを代表するブランド。Hang ten vintageは当時の古き良き雰囲気再現しながらモダンなスタイルに仕上げているハンテンのハイライン。



HARD TAIL / ハードテイル

1981年にサンタモニカで誕生したスポーツウェアブランド。アウトドアにヒントを得たデザイン等、ロックスピリッツのスパイスが効いている。カラーリングに特徴があり、グリーンひとつでも10色以上と、微妙なニュアンスの違いが楽しめる色づかいを展開している。豊富な色使いとフェミニンなディテールが特徴。



havaianas / ハワイアナス

世界で一番売れているブラジルのビーチサンダル。



HERSCHEL / ハーシェル

カナダ バンクーバー発の注目のbagブランド。クラシックアウトドアスタイルとアーバンスタイルを融合。



HUBS / ハブス

型崩れしない丈夫な縫製や、こだわりの素材を使用し、既存のボディと違い丈や身幅にまでこだわったボディはサーフカジュアルにフィット。長年愛用できるしっかりした仕上がりが人気。





HURLEY / ハーレー

1979年、南カリフォルニアのコスタメサに「Hurley Surfboards」が誕生。その後1999年に「Hurley International」を設立し、競技者ではなく表現者のためのアクションスポーツブランドとして、サーフィン、スケートボード、スノーボード等のアイテムを発信。



LEVI'S / リーバイス

1873年にジーンズそのものを誕生させたthe original のブランド。時代を越えて人々に愛される、永遠のマストアイテム。



INCASE / インケース

洗練された工業デザインの美学と機能性、素材に対する職人的なこだわりで、アップルユーザーから絶大な支持を得るINCASE。



MAGIC NUMBER / マジックナンバー

世界レベルで活躍するサーファー、スケーター、アーティスト達からのフィードバックを元に、ストリートファッションに新たなアプローチで刺激を吹き込む日本発のブランド。ディレクターは中村竜氏。



KAVU / カブー

1998年、シアトルにて設立。ウエビングでサイズ調節するという、今までにない全く新しいコンセプトのユニークな『ストラップキャップ』を世に出し、看板商品に。



MANASTASH / マナスタッシュ

1994年、アメリカ シアトルで設立。環境に優しいヘンプやリサイクル素材を使用して最高のアウトドアウェアとギアを製作。



KEEN / キーン

2008年設立のアメリカのフットウェアカンパニー。デザイナーがヨットマンであったことからウォータースポーツの機能商品の開発に強い関心がありサンダルつま先にトゥーガードを付けた商品を開発し、初年度から高い評判を得る。



MARK GONZALES / マークゴンザレス

伝説的なスケーターでアーティストのマーク・ゴンザレスのアパレルライン。



KELTY / ケルティ

THE FIRST NAME IN BACKPACKING
KELTYの歴史は、そのままバックパックの変遷と言える。



MAXIM / マキシム

クラフトマンによる、高機能・高品質を誇るウエットスーツブランド。



KOOKBOX / クークボックス

ジョエル・チューダーがプロデュースするサーフボードブランド。それぞれのボードが他に類を見ない独特の作品となる。



MEDICOM TOY / メディコムトイ

「KUBRICK」(キューブリック)シリーズなどが人気のフィギュアメーカー。





サモトラケのニケ

スニーカーやスポーツウェア等のスポーツ関連商品を開発した。この学生フィリップ・ナイトと、オレゴン大学で陸上コーチマンがナイキの前身となるブルーリボンスポーツ(始まり)。ワカタイガー(現在のアシックス)のランニングシューズを売っていたが、1972年よりスニーカーを自社生産を開始。アシックスがヒット商品となりトップブランドの仲間入りを果たした。ジェフ・ジョンソンが夢で見た、ギリシャ神話に登場する女神からで、ナイキは、「ニケ」の英語読み。

アクションバイメブ
合わせたのが由来。
ン)。オリジナリティ溢
appleの新しいコレク

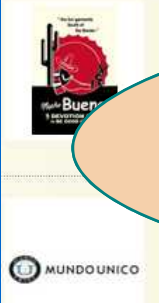


NIKE / ナイキ

1978年設立の世界的スポーツ用品ブランド。数々のヒット商品を開発し、各国の有名アスリートをサポートしている。またストリートでも絶大な人気を誇る。NBAのスーパースター、マイケル・ジョーダンがはいていたことでも有名。

OAKLEY / オークリー

世界NO.1のアイウェア。



MUCHO BUENO / ムーチョブエーノ
MUCHO

1971年に商標登録されたロゴマークで名称は、「ビューンと音をさせる」という意味の「スウッシュ (Swoosh)」。ポートランド州立大学でグラフィックデザインを選考していた学生のキャロライン・デビッドソンが制作したもので、躍動感やスピード感を表現しており、社名の由来ともなった女神ニケの翼をモチーフにしていると言われている。ちなみに、キャロラインが請求した制作費は、わずか35ドルだった。





O'NEILL / オニール

ウェットスーツの生みの親ジャック・オニール



PUMA / プーマ

1948年、ドイツのヘルツォーゲンアウラハでシューズ・メーカーとして設立。現在は数々のスポーツをベースにライフスタイルとファッションを融合させたプーマ独自の世界を提供。

PURE LINE / ピュアライン

多発、デザイン性と機能性を兼ね備えたフィットネスウェア。



Reebok / リーボック

イギリス生まれでアメリカでブレイクしたシューズブランド。フィットネスシューズで一世を風靡。現在はアイパーソンモデルが人気沸騰。

プーマの創設者ルドルフ・ダスラーは、ヘルツォーゲンアウラハで製靴人として働く父クリストフと、小さな洗濯屋を営む母パウリーナの次男として生まれた。1924年、ルドルフは弟アドルフ(愛称:アディ)・ダスラーが設立した製靴工場に参加するためヘルツォーゲンアウラハに帰った。彼らは新しい事業を行うにあたってダスラー兄弟製靴工場(Gebrüder Dassler Schuhfabrik)という名前を付けた。兄弟は彼らの母が使っていた洗濯室でこのベンチャーを開始した。当時、町の電力供給は心もとなかったので、兄弟はしばしば据え付け自転車のペダルを漕いで機材を動かしていた。

アディはスーツケース一杯のスパイクを携えて1936年夏季オリンピックが開催されるベルリンに向かい、アメリカ合衆国の短距離走者ジェシー・オーエンスを口説いた。オーエンスはこの大会で4つの金メダルを獲得した。事業は波に乗り、ダスラー兄弟は第二次世界大戦前に年間20万足の靴を販売していた。

兄弟は1948年4月に袂を分かった。ダスラー兄弟製靴工場の資産は工場をはじめ、設備、特許など兄弟間で細かく分割された。販売部門の従業員の多くはルドルフに付いて行き、技術者の多くはアディのもとに残った。ルドルフはアウラハ川の対岸にルドルフの Ru とダスラーの Da を合わせたルーダ (Ruda) という会社を作ったが、すぐにより軽快な印象のプーマ・シューファブリック・ルドルフ・ダスラー (Puma Schuhfabrik Rudolf Dassler) に社名を改めた。アドルフは社名に自身の愛称 (Adi) と苗字の最初の3文字 (Das) を合わせてアディダスという名前を付けた。

1948年10月、ブランドネームと最初のロゴ(ダスラーの頭文字「D」の中を、ネコ科の動物がぐり抜けているデザイン)が登録された。この最初のロゴは2000年代に「PUMA Black Label」の「Rudolf Dassler Schuhfabrik」コレクションのロゴとして復活した。





ROIAL / ロイアル

世界ランカーだったプロサーファーが「culture,music,life style」をコンセプトにカリフォルニア ハンティントンで立ち上げたブランド。



Rosasen / ロサーゼン

「朝にサーフィンをして、ビーチからそのままゴルフへ行けるようなウェア」を作ろうと1999年にロサンゼルス・メルローズにて立ち上げたブランド。ゴルフだけにとどまらない日常のあらゆるシーンにも溶け込める、オリジナルの世界観を展開。



SAINT JAMES / セントジェームス

1889年、フランス ノルマンディー地方のSENT JAMES市で設立。現在まで伝統的な手法によるものづくりが引き継がれている。マリンスタイルの先駆的存在で、ボーダーブームの火付け役でもあるボーダーシャツは永遠の定番。



SAUCONY / サッカニー

1898年創業のアメリカランニングウェア & シューズブランド。アポロ11号の月面着陸シューズを製作したのは有名。



SAUVAGE / サバージュ

斬新なデザインが特長のスイムウェアメーカー。



SIERRA DESIGNS / シェラデザインズ

1965年、アメリカ・カリフォルニア州で誕生。高機能で高品質なアウトドアブランドとして成長。永遠の定番素材である60/40素材(通称:ロクヨン)を用いたマウンテンパーカがアウターシェルジャケットの原点となる。



SKINS / スキンズ

オーストラリア発コンプレッションブランド。独自開発の段階的着圧効果により血液の循環を高め、乳酸の除去を助け、より多くの酸素の取り込みをサポート。段階的着圧式のタイツとトップスは、多くのアスリートから支持されている。



SO LOW / ソーロー

2001年に誕生したカリフォルニアのヨガ&ライフスタイルウェアブランド。ポップなグラフィックが特徴で、キャメロン・ディアス、キルスティン・ダンスト等ハリウッドセレブにも愛されている。



speedo / スピード

1928年、シドニーで誕生。最初に作られた「レーザーバック」という水着は発売直後から世界チャンピオンに愛用され、機能性水着のリーダー的存在に。水着やゴーグルのほか、アパレルも展開している。先進の素材技術で世界のスイマーをサポートするスイムウェアメーカー。



STUSSY / ステューシー

南カリフォルニアのサーフシーンで生まれたローカルブランドがその僅か10年後にはカジュアルウェアの概念を一変、ストリートカルチャーの新時代を切り拓く。世界中のネットワークを基盤に有機的な成長を今なお続ける、真のオリジネーター。



SURF 8 / サーフエイト

冬の防寒用品がフルラインナップ。



SURF&TURF / サーフアンドターフ

波がある時は海でサーフィン、無いときはGOLFを楽しむスタイル。素敏な大人がちょっとお茶目に見えてしまう、新しいゴルフの提案。





SURFBOARDS BY JOEL TUDOR / サーフボードバイジョエルチューダー
現代のカリスマ、ジョエル・チューダーのサイト。



TERREM / テラム
TERREMというブランド名は、大地、着地の”Terra”と再注目という意味の”Remark”からくる造語。靴の再注目や足元の注目といった意味合いを含んでいます。ブランドコンセプト：色々な人に履いてもらいたいと言う以外、特にコンセプトという固定したものは有りませんが、”靴”として重要視しているのは、履き心地。2006年start。インライン(ベシック)、レザー、アウトドア、3つのシューズカテゴリーを展開し”OFF”をテーマに履き心地の部分も含めて、様々なカテゴリーのシューズを提案している。



THE NORTH FACE / ザノースフェイス
1968年に設立後、スリーピングバッグとダウンパーカーの原型といえる「シエラパーカ」で人気を呼び、バックパッキングブームを巻き起こす。1975年には世界初のドーム型テント、1976年には史上初のフレームバックを発売し、アウトドアの限界を高めてきた。



TOKYO BIKE / トーキョーバイク
スタイリッシュなルックスが女性にも男性にも人気を呼びそうなトーキョーバイクのサイト。軽快に東京を走り抜けるのにピッタリなバイクです。



TOMS / トムス
2006年にカリフォルニア州サンタモニカで設立。ブランドコンセプトは『One for One』。1足の靴が購入されるたびに、靴を必要としている貧困地の子供に1足の靴をプレゼントするというもの。



TREK / トレック
アメリカの代表的自転車のナショナルブランド。MTBからロードバイクまで幅広く扱う。



TYR / ティア
1985年にロサンゼルスで設立されたスイムブランドで、競泳用スイムウェア以外にもトライアスロンウェアの取り扱いが多いことで知られる。アメリカNO.2スイムウェア&クロストレーニングウェアブランド。



UBIQ / ユビーク
2002年10月ブランド設立。特に決まったテーマを設けずスニーカーだけににとどまらず、色々なシューズをUBIQのフィルターを通して表現。デザイン性と快適さの追求をブランドの志とし東京発ワールドワイドなフットウェアブランドとしての確立を目指す。BRAND CONCEPT/UBIQUITOUS(至る所に存在する)を語源により多くの人に愛されるブランドになるように願いをこめて。



UFO / ユーエフォー
1967年、NYで軍の余剰物資を販売するために創業。現在は、そのインスピレーションを生かしたウェアで、世界中のダンサーたちから支持されているミラタリーブランド。



ULTIMATE DIRECTION / ウルティメイトディレクション
1987年に誕生したアメリカコロラド州初のハイドレーションブランド。独自のキッカーバルブシステムが有名。



UNDEFEATED / アンディフェイテッド
2002年9月11日、ロサンゼルスにてスタートしアメリカ中心に店舗展開するスニーカーショップ。2005年にオリジナルアパレルラインがスタート。「PLAY DIRTY」をキーワードに、アメリカンカジュアルやスポーツの要素が反映されたプロダクトを数多く展開。



UNDER ARMOUR / アンダーアーマー
1996年に誕生したスポーツウェアブランド。コットンTシャツに比べて52%も軽く、速乾性にも優れているアンダーアーマー素材は、“第二の皮膚”と称されている。





VANS / バンズ

ポール・ヴァン・ドレーンと8人のパートナーが1966年にカリフォルニア州アナハイムに初めてのショップをオープンする。南カリフォルニアでシンプルなデザインとグリップのあるソールが、スケーター達の間で徐々に火が付き始める。後のレジェンドになるトニー・アルバヤやステイシー・ペラルタらによってデザインされる。現在ではERAとして知られるモデルが、パッド入り、コンビカラー等でリリース。この年、Vans「Off The Wall」ロゴもデビューする。



VOLCOM / ボルコム

スケートボード・サーフィン・スノーボード・モトクロスといったアクションスポーツの分野にとどまらず、アート・音楽・映像といった分野の表現者をサポートする、ユースカルチャーのクリエイティヴスピリットを体現した現代のライフスタイルブランド。

NO IMAGE

WHITTAL&SHON / ウィットイルアンドジョン

アメリカフロリダ発メトロセクシャルメンズウェア&スイムウェアブランド。



WILD THINGS / ワイルドシングス

本格的クライミングメーカーとして81年アメリカはニューハンプシャー州ノースコムウェイにて設立。本当に役立つ物作り『軽くてタフでなければいけない』というコンセプトをもとに、マウンテンアリングからアルパインクライミングまで幅広く高性能なプロダクトを生み続けている。



X-LARGE / エクストララージ

ブランドネームは、1960～1970年代半ばに生まれた世代を表す”Generation X(ジエネレーション エックス)”と、大きく生きるという意味の”live Large(リヴ ラージ)”を掛け合わせたもの。2011年にブランド設立20周年。”Generation X”カルチャーの軸である、SKATEBOARDING、ART、MUSICを表現。



ZANEROBE / ゼインローブ

2002年、オーストラリアでスタート。’80年代のインディーズロック・パンクスタイルに影響を受け、現在のスタイルが完成。細かい仕様に對するこだわりと物に對する熱意にセレクトショップ「フレッドシーガル」や「バーニーズ ニューヨーク」のバイヤーの目に留まり、アメリカに進出。



ZXU / ツータイムズユー

オーストラリア国立スポーツ研究所のオフィシャルサプライヤーとなっている高機能ウェアブランド。スポーツ大国で培われた最新のテクノロジーを用いた高機能素材とデザイン性が特徴。



国内売上高トップ5の財務状況

国内売上高トップ5スポーツメーカーの財務状況

単位:100万円

	2002年度		2003年度		2004年度	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
ミズノ	122,827	2,845	120,866	3,620	119,518	2,819
アシックス	70,956	1,890	71,663	2,022	70,608	4,015
エスエスケイ	55,962	1,954	55,608	1,631	55,186	1,363
デサント	54,146	-651	54,355	1,682	53,348	1,501
アディダスジャパン	42,000	-	50,000	-	-	-

※ナイキジャパンのデータは非公表



国内売上高トップ5の財務状況

▶ 業界定義

スポーツ用品製造業とは、スポーツに使用する機械器具、用具、服装、靴、帽子および部品・付属品を製造する事業をいう。

▶ 業界主要企業

(単位:百万円)

企業名	売上高	営業利益
アシックス	247,792	19,628
ミズノ	154,982	5,498
デサント	83,029	4,779
ダンロップスポーツ	61,702	3,811
ゴールドウィン	48,641	1,131

2011年度



スポーツ衣料品産業の利益

スポーツ衣料品産業の税引前の収益（単位 100万ドル）

	2004	2005	2006	2007	2008	2004年から2008年までの成長率 (%)
ナイキ	1,450.0	1,859.8	2,141.6	2,199.9	2,500.0	72.4
アディダス	646.8	849.3	877.6	1,088.4	1,265.6	95.7
プーマ	448.4	524.0	454.0	510.9	457.9	9.5
アシックス	64.8	100.3	147.8	203.7	233.9	261
ミズノ	42.7	63.8	72.8	39.9	-2.8	-106.5
リーニン	14.7	22.3	36.8	57.4	86.0	485
Li & Fung	207.8	249.0	304.3	424.8	344.0	99.2
Yue Yuen	300.0	307.6	375.6	386.6	515.4	65.5

出典：MSN 2008: 17; annual corporate report



アジアへの進出

	進出国(数)	事業展開状況
NIKE	中国、香港、日本、韓国、シンガポール、マレーシア、フィリピン、タイ、台湾 ベトナムとインドネシアに製造管理オフィス	11ヶ国 50社以上のフットウェア契約工場があり、24万5千人分以上の雇用を生んでいる アパレルでは300社以上の契約工場があり、16万5千人分以上の雇用を生んでいる
adidas	日本、中国、韓国、香港	4ヶ国 adidas-Salomonが販売するフットウェアの94%(中国で55%、ベトナムで21%)、ウェアの77%(中国で20%、インドネシアで17%)をアジアで製造
Reebok	日本、中国、韓国 ※インドに過半数所有子会社	4ヶ国 アジアの製造拠点は中国、インドネシア、インド、台湾、タイ、韓国、ベトナム フットウェアの96%(中国で51%、インドネシアで21%、ベトナムで17%、タイで7%)、ウェアの74%(韓国で49%、台湾で14%、ベトナムで11%)をアジアで製造
Puma	香港、日本	2ヶ国 香港をアジア地域の本部として事業展開
asics	日本、韓国、中国	3ヶ国 —
mizuno	日本、台湾、タイ、中国、香港	5ヶ国 —



スポーツ用品メーカーの概要

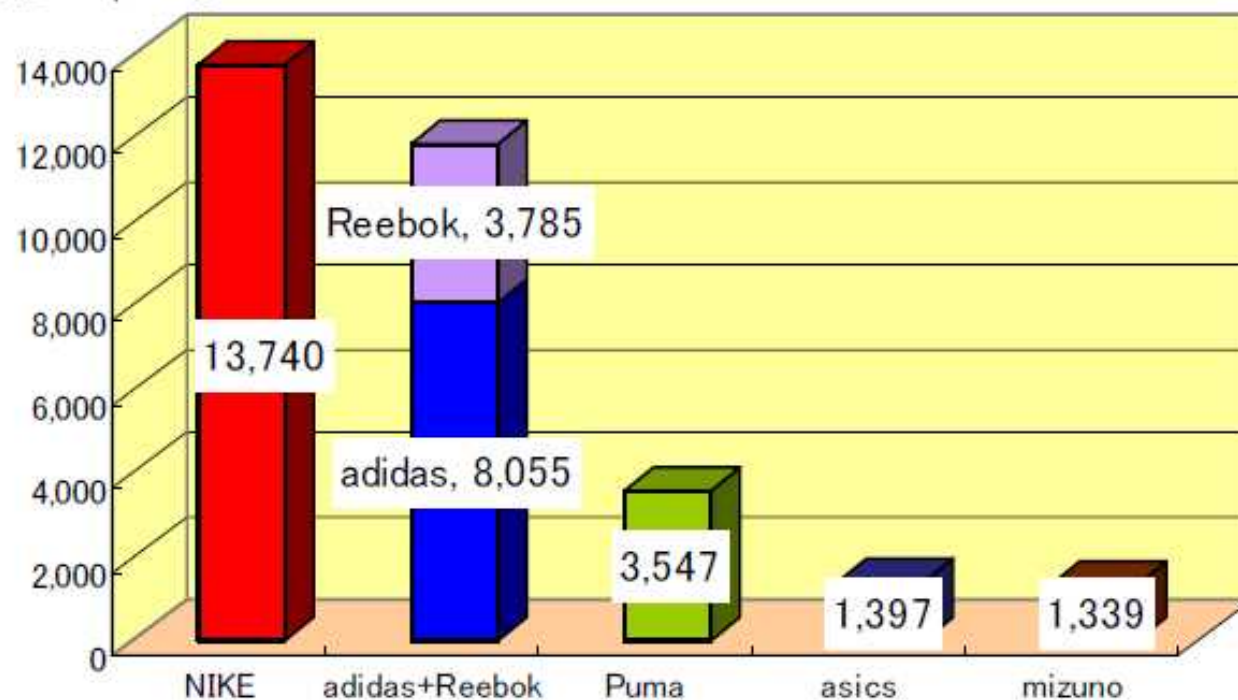
	NIKE	adidas-Salomon	Reebok	Puma	asics	mizuno
本社所在国	アメリカ	ドイツ	アメリカ	ドイツ	日本	日本
従業員数	23,000人	17,000人	9,100人	3,500人	3,700人	5,400人
海外売上比率	63%	46% (ヨーロッパ以外)	45%	43% (ヨーロッパ以外)	43%	21%
BRICS進出状況 ※	ブラジル	○	×	○	×	×
	ロシア	×	×	○	×	×
	インド	×	×	○	×	×
	中国	○	○	○	○ (香港)	○
子会社・サブブランド	<ul style="list-style-type: none"> •Cole Haan •Bauer Nike Hockey •Hurley International •Converse 	<ul style="list-style-type: none"> •adidas •Salomon •TaylorMade-adidas Golf 	<ul style="list-style-type: none"> •Rockport •CCM •JOFA •KOHO •The Greg Norman Collection 	<ul style="list-style-type: none"> •Tretorn 	<ul style="list-style-type: none"> •Rawlings •savas など 	
出所: 各社HP						※ ○: 現地支店・子会社があるもの



スポーツ用品メーカーの年間売上高(世界)

各スポーツメーカー年間売上高

単位:US\$100万

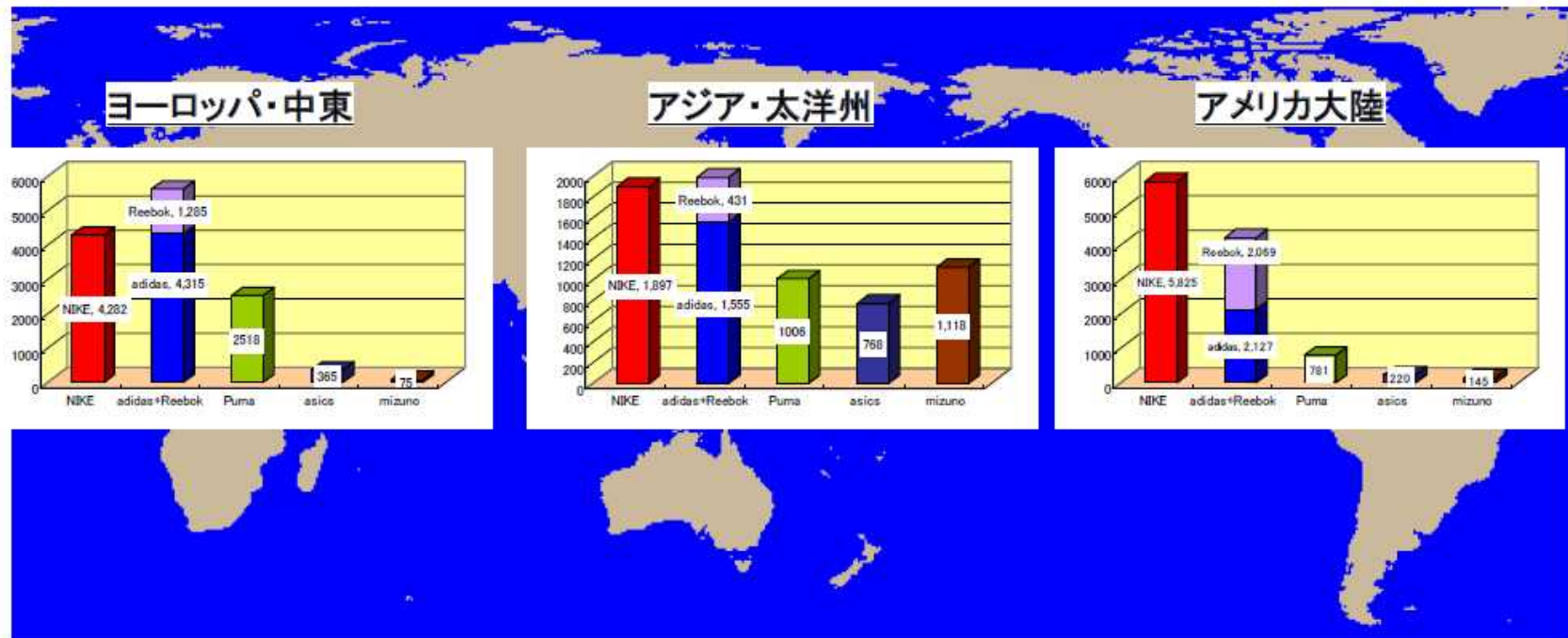


出所:各社の2005年8月現在直近の決算値に基づく



スポーツ用品メーカーの地域別売上高

- adidasとReebokの売上高を合わせると、アメリカ大陸以外の地域ではNIKE以上の規模を記録する。
- アジア・大洋州地域は他の地域ほど売上規模は大きくなく、日系メーカーと海外メーカーの間でも売上規模に大きな差は存在しないため逆転のチャンスは残されている。



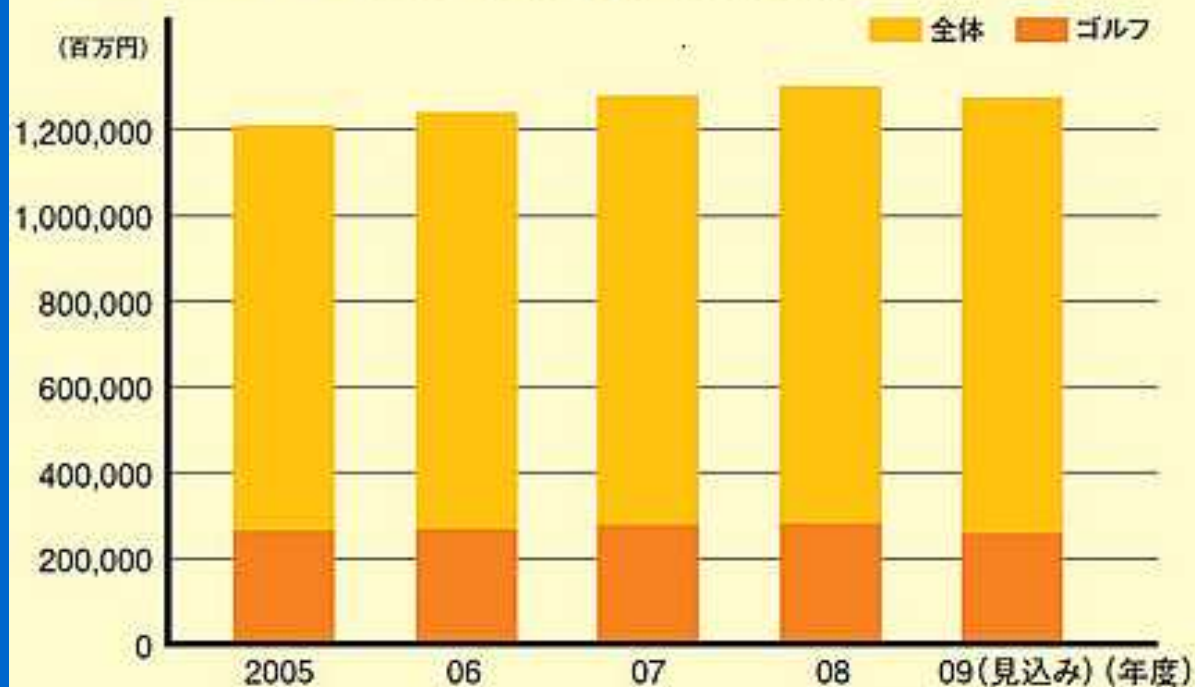
出所:各社annual report



スポーツ用品市場

2009年度は市場が縮小している

スポーツ用品分野別 国内市場規模推移



出所: 矢野経済研究所
資料をもとに編集部にて作成



- ・
- ・
- ・

スポーツ用品産業

日本では、
平成18年の余暇市場は78兆9,210億円(前年比▲1.6%)。

そのうち、
スポーツ部門の市場規模は、4兆2,970億円で前年から横ばい。

(財団法人社会経済生産性本部)



スポーツ用品の市場規模の推移（全国）

（単位：億円、％）

	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	18年/17年
1. 球技スポーツ用品	7,170	7,020	6,830	6,620	6,630	6,640	6,680	6,650	-0.4
(1) ゴルフ用品	4,800	4,740	4,540	4,370	4,390	4,370	4,400	4,390	-0.2
(2) テニス用品	810	750	760	740	740	750	750	710	-5.3
(3) 卓球・パドミントン用品	320	310	310	310	310	320	320	320	0.0
☺ (4) 野球・ソフトボール用品	1,020	1,010	1,010	990	980	990	1,000	1,020	2.0
(5) 球技ボール用品	220	210	210	210	210	210	210	210	0.0
2. 山岳・海洋性スポーツ用品	8,870	8,240	7,750	7,190	7,010	6,830	6,710	6,620	-1.3
(1) スキー・スケート・スノーボード用品	2,600	2,390	2,240	2,050	2,000	1,910	1,860	1,800	-3.2
☺ (2) 登山・キャンプ用品	1,780	1,640	1,560	1,480	1,460	1,470	1,480	1,500	1.4
(3) 釣具	2,760	2,600	2,440	2,220	2,150	2,060	2,010	1,970	-2.0
(4) 海水中用品	1,730	1,610	1,510	1,440	1,400	1,390	1,360	1,350	-0.7
3. その他のスポーツ用品	3,180	3,290	3,450	3,520	3,440	3,390	3,390	3,440	1.5
☺ (1) スポーツ自転車	1,420	1,510	1,550	1,520	1,430	1,340	1,320	1,380	4.5
(2) その他のスポーツ用品	1,760	1,780	1,900	2,000	2,010	2,050	2,070	2,060	-0.5
☺ スポーツ服等	3,590	3,530	3,560	3,570	3,530	3,610	3,720	3,910	5.1
(1) トレーニング競技ウェア	2,140	2,080	2,080	2,070	2,040	2,130	2,210	2,360	6.8
(2) スポーツシューズ	1,450	1,450	1,480	1,500	1,490	1,480	1,510	1,550	2.6

資料：財団法人社会経済生産性本部『レジャー白書 2007』より作成。



・
・
・

増加要因

- ・若い女性を中心にランニング人口が増加
- ・中高年を対象とした健康維持を目的としたスポーツ用品の売れ行きが好調
- ・スポーツカジュアルの伸長



全国小売業の概況

スポーツ用品小売業の事業所数、従業者数、年間商品販売額、売り場面積（全国）

（単位：箇所、%、人、百万円、m²）

	事業所数	対前回調査年比	従業者数	対前回調査年比	年間商品販売額	対前回調査年比	売り場面積	対前回調査年比
平成6年	20,073	—	72,857	—	1,883,325	—	2,256,896	—
平成9年	19,299	-3.9	70,471	-3.3	1,843,497	-2.1	2,445,901	8.4
平成11年	19,262	-0.2	75,683	7.4	1,694,401	-8.1	2,556,378	4.5
平成14年	17,923	-7.0	80,466	6.3	1,548,822	-8.6	2,801,956	9.6
平成16年	17,262	-3.7	76,327	-5.1	1,433,409	-7.5	2,844,398	1.5

資料：経済産業省『商業統計調査』産業編（平成16年）より作成。



スポーツ用品 流通別小売金額

(単位：百万円、%)

	平成16年		平成 17年			平成18年 (見込み)		
	金額	構成比	金額	構成比	前年比	金額	構成比	前年比
ナショナル・スポーツ・チェーン	196,900	21.1	205,000	21.6	4.1	212,300	22.1	3.6
専門・一般スポーツ店	375,600	40.3	373,700	39.3	-0.5	372,900	38.9	-0.2
百貨店	67,600	7.3	68,700	7.2	1.6	69,400	7.2	1.0
GMS (総合スーパー) HC (ホームセンター)	48,200	5.2	47,500	5.0	-1.5	46,200	4.8	-2.7
カジュアル・セレクトショップ	9,900	1.1	10,900	1.1	10.1	11,200	1.2	2.8
通販・インターネット	14,900	1.6	17,400	1.8	16.8	18,000	1.9	3.4
スポーツクラブ・スクール	9,100	1.0	9,400	1.0	3.3	9,500	1.0	1.1
その他小売業	14,400	1.5	13,900	1.5	-3.5	13,600	1.4	-2.2
直営店・S I S	72,500	7.8	78,500	8.3	8.3	84,400	8.8	7.5
全 体	932,400	100.0	950,400	100.0	1.9	959,700	100.0	1.0

資料：株式会社産業構造総合研究所（現、株式会社DELTA i . D. 総合研究所） [2007] 『2006年スポーツ用品市場構造研究』 調査結果 PRESS RELEASE より作成（アクセス日 平成20年3月3日）。

http://www.isgr.co.jp/press/pdf/2006_sports_article.pdf

(注) ナショナル・スポーツ・チェーンとは、全国規模でチェーン展開をしているスポーツ用品店を指す。

S I Sとは国内外で資源開発から小売までを垂直統合した、効率的な商品の生産・流通・販売を行う戦略的統合システムを指す。



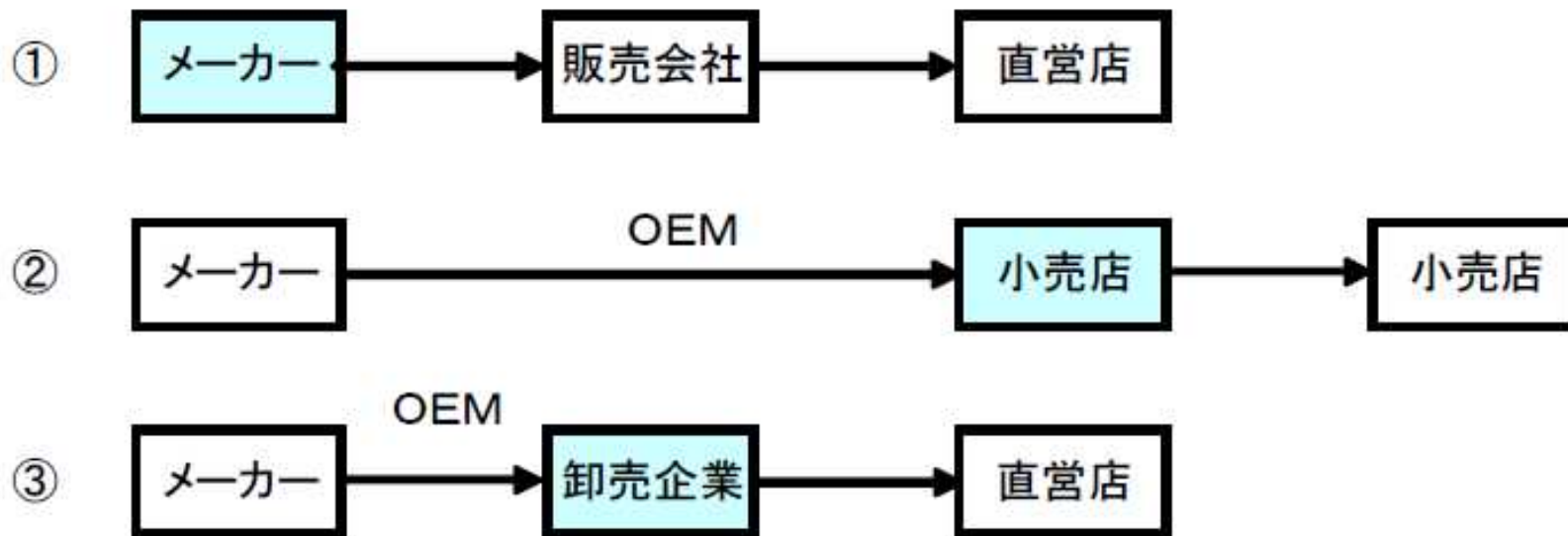
衣料・服飾の小売りチェーン 店によるスポーツカジュアルに着 目した説教的な展開

若者のゴルフ人口が男女を問わず増加し、紳士服・婦人服および雑貨などの企画・販売をしている(株) ユナイテッドアローズでは、「ゴルフウェア事業に参入し、スポーツウェアにデザインの良さを求める20~30代の女性に着目し、自社店舗に加え、ゴルフ場でも販売する。また、卸売りも手がけ、ゴルフ用品の小売店を通じゴルフ場の用品売り場でも販売する」という取り組みを開始した。



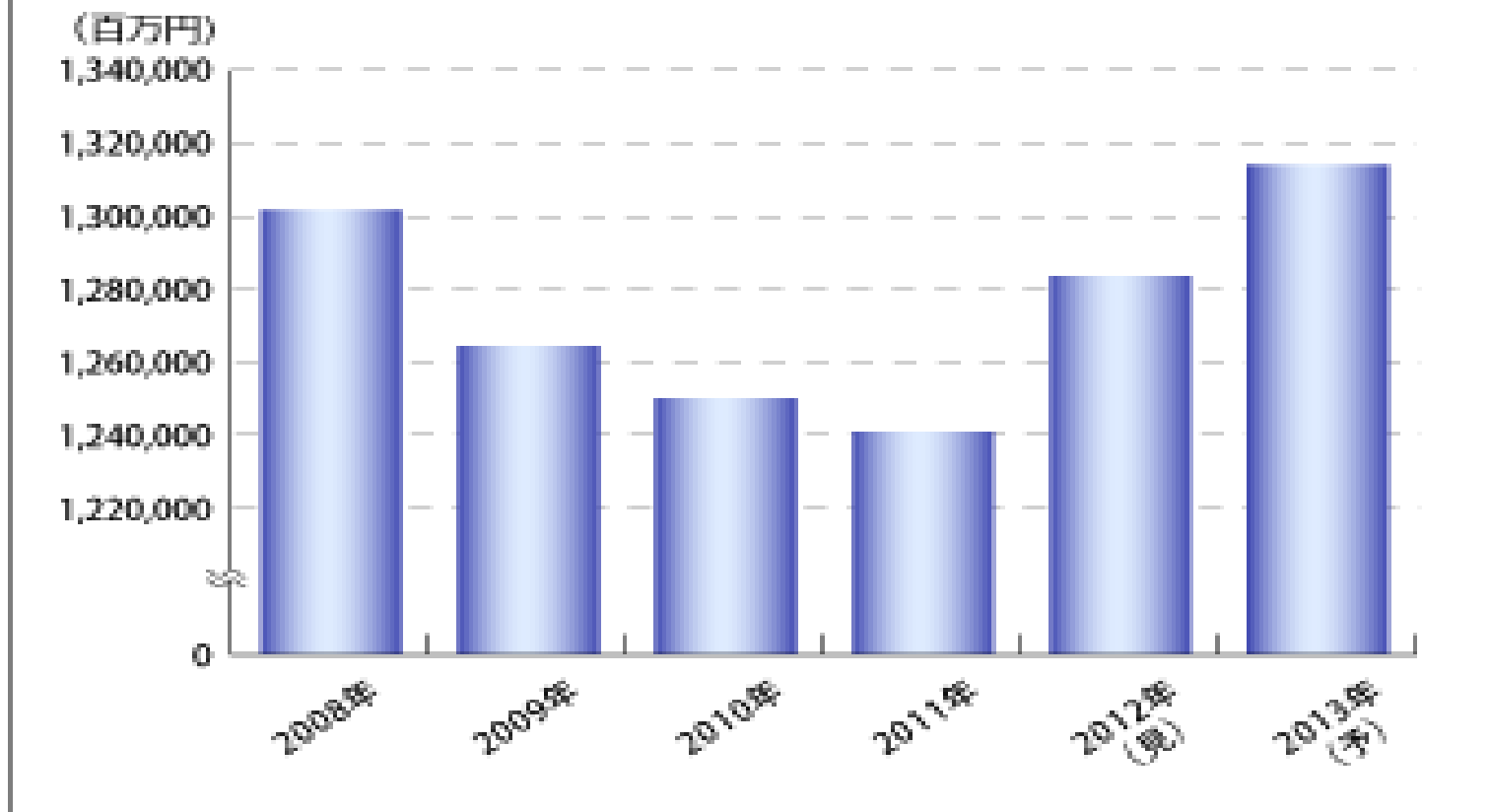
製造から小売りまでの流れ

製造から小売までの流れのモデル



-
-
-

スポーツ用品分野国内市場規模推移



注1:メーカー出荷金額ベース
注2:(実)は見込値、(推)は予測値

(矢野経済研究所推計)



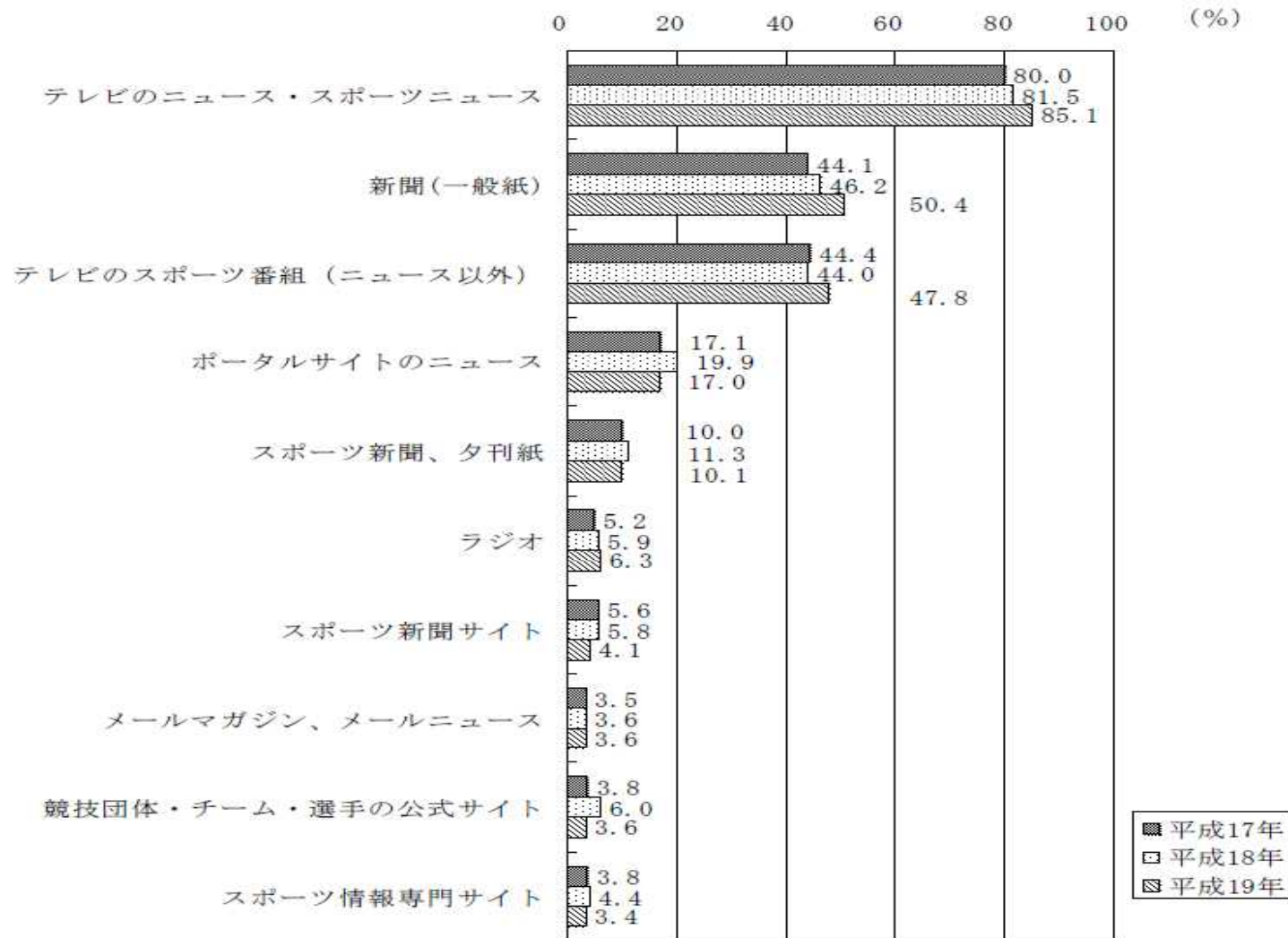
-
-
-
-
-
-
-

調査サマリー

- ◆2012年のスポーツ用品国内市場は、前年比103.4%とプラス成長の見込み
2012年のスポーツ用品国内市場規模(メーカー出荷金額ベース)は、前年比103.4%の1兆2,838億円の見込みである。2009年より3年連続でマイナス成長となっていた当該市場だが、ようやくプラス成長へと転じている。
- ◆2012年は15分野でプラス成長に転じる
2011年は、東日本大震災の影響もあり、全18分野の中で10分野がマイナス成長となった。しかし、その反動もあって、2012年では15分野がプラス成長を果たし、マイナス成長は僅かに3分野に激減した。
- ◆アウトドア、スポーツシューズ、フィットネスは2009年から4年連続プラス成長
アウトドア用品、スポーツシューズ、フィットネス用品の3分野は、堅調な成長を遂げ、2009年から4年連続の成長を見込む。これは、健康目的をきっかけに参加した人々がスポーツの「楽しさ」「達成感」を味わうことで嵌っていき、シリアス化(かじりかけの趣味という範疇を超え、生活の一部としての活動が定着)していることが背景にあると考える。
- ◆2013年のスポーツ用品国内市場は、前年比102.4%と予測
2013年のスポーツ用品国内市場規模(メーカー出荷金額ベース)は、引き続きほとんどのカテゴリーでプラス成長となり、前年比102.4%の1兆3,143億4,000万円と予測する。



スポーツに関する情報の入手メディア（上位 10 項目：複数回答）



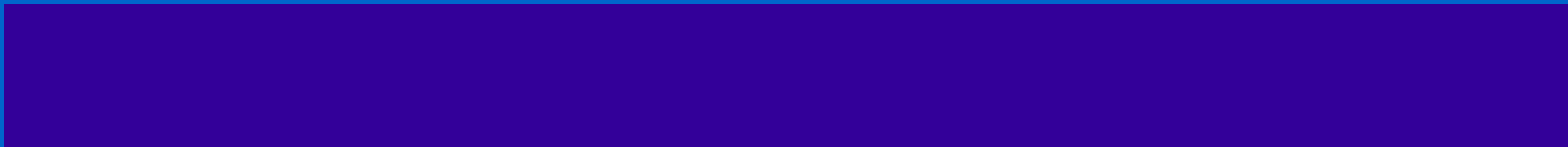
資料：ヤフーパブリシティ株式会社「C-NEWS」と三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社の共同調査結果「2007 年スポーツマーケティング基礎調査」

<http://www.yahoo-vi.co.jp/research/photo/00416.pdf>（アクセス日 平成 20 年 3 月 8 日）。

（注）全国 15 歳（中学生を除く）～69 歳のアンケートパネル（男性 1,000 名、女性 1,000 名、計 2,000 名）の回答結果。



-
-
-



-
-
-

